

献呈の辞

安田一郎先生は平成二年三月、本学をご定年で退職された。

先生は昭和三十九年四月に成城大学短期大学部に専任講師として着任されて以来、同学部教授、昭和五二年四月法
学部教授に就任、ご退職の日まで二六年の歳月を本学のために尽くされた。

ご専門は英語で、英語言語学、英語教育学、さらに関連科目として地域研究Ⅱアメリカも担当されてきた。その
関係で法学部創設以来、一般教育の科目、スタッフの充実につとめられたのはもちろんであるが、一般教育科目と
専門科目がとかくギクシャクするのをうまく調整されたりで、学生の勉学にずいぶん貢献されている。

また二期にわたる図書館長の四年間は、ちょうどこの由緒ある「古りにし松」の学園キャンパスに新図書館を設
けるかどうかの岐路にあたる時代であって、それを超え合意の下に、今日あるようなりっぱな新館を建築できたの
も先生のご努力によるところが大であったといえよう。

それに、先生は数多くの隠れた人間味あふれる才能？ に恵まれている。くろうと並の写真の腕前とか、お若い
ころからの社交ダンスの牙え、彫刻、絵の鑑賞など。その上、いいお酒で、たくましくして人を惹きつけずにはおか
ない人間的魅力……。どんなに多くの人々が心をなごませていただいたことか。

先生はご退職後もお元気で、調布学園女子短期大学で教鞭をとっていらっしゃる。いつまでもお元気で、ちよっ

とダンディーなお姿で、私たち後進をばげまして指導下さるよう、心からお願い申し上げるしだいである。

平成二年十二月

成城大学法学部長

矢崎光圀